



「15歳からの大学入門」シリーズ



オープンキャンパス

このような本学の一つ一つの事業は、高校生にきちんとした社会科学の教育をすることによって、より多くの人々の社会に対する意識を向上してもらおうという狙いのもとに企画されています。

大学全入時代を迎え、進学率が50%を超えたとはいえ、高校への進学率98%と比べればはるかに低いわけで、ましてや専門の経済学、商学、法学を学ぶ機会を持つことができる人々はごく一部です。彼らのほとんどが学校を卒業すると同時に社会に出るにもかかわらず、社会や経済の捉え方を学ばないままに世に送り出されるということは望ましいことではないでしょう。なぜなら、経済社会はますます複雑化の一途をたどり、専門的な知識なしに速い流れの川を泳ぐことは難しくなっているからです。国民の大部分をカバーでき、物事に対しても敏感な感覚を持つ高校生に対して知識を提供することは大学の社会的責任の一つであるとも考えられます。

このような高大連携事業を通じて強く感じるのは、高校生たちが社会と大学での勉強に対して強い関心を持っているということです。その姿は、しばしば語られる社会問題に無関心な若者の姿とは大きく異なっています。彼らは社会問題に関心がないわけではなく、ただそれらをどのように捉え、どのようにつきあっていけばいいのかを学ぶすべを知らないだけに過ぎません。本学の高大連携活動が、彼らが文字通りの「社会人」として生きていくためのきっかけとなれば、活動は成功したと言えるでしょう。

### 本学高大連携活動の主な経過

平成 8年	9月	第1回オープンキャンパス開催
11年	11月	高校での模擬講義開始
14年	1月	高大連携ワーキンググループ(WG)設立
	4月	通常授業体験講座開始
15年	1月	第1回オープンユニバーシティ(札幌)開催
	5月	〃 (旭川)開催
	9月	北海道進学コンソーシアム実施委員会開催
	12月	札幌手稲高校との高大連携セミナー開催
16年	5月	入試広報・高大連携専門部会 (WGを改組)設立
17年	3月	「15歳からの大学入門・全3冊」出版
17年	7月	札幌手稲高校夏期連続講義開催
18年	8月	高校生向け「夏期連続講義」開催



高校生向け夏期連続講義  
「レンタルショップを作ろう！」



オープンユニバーシティ(札幌)



オープンキャンパス